

AIを活用した新しい無人販売



メンバー 木原、吉野、柳田、永田

薩摩川内市



薩摩川内市市章



薩摩川内市の良いところ

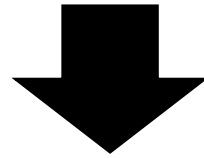
年間を通して温暖で 過ごしやすい環境

年間を通して温暖で住みやすく、薩摩川内市が有する多様で美しい自然環境は、甕島国定公園をはじめとして、川内川流域県立自然公園や藺牟田池県立自然公園など多くの人に親しまれています。

薩摩川内市の名所



川内川流域
国立自然公園



甕島国定公園



蘭牟田池
県立公園

問題点①

都心と比べると
地方はいろいろな
ジャンルの店舗数
が少なく感じる



コンビニなど
遅い時間に営業し
ている店がない



問題点② 空き家が多い (graph to chartより)

薩摩川内市の空き家 → 11290戸 (2018年調査)

なお空き家の数は上昇傾向にあり
県内でも3位と多い



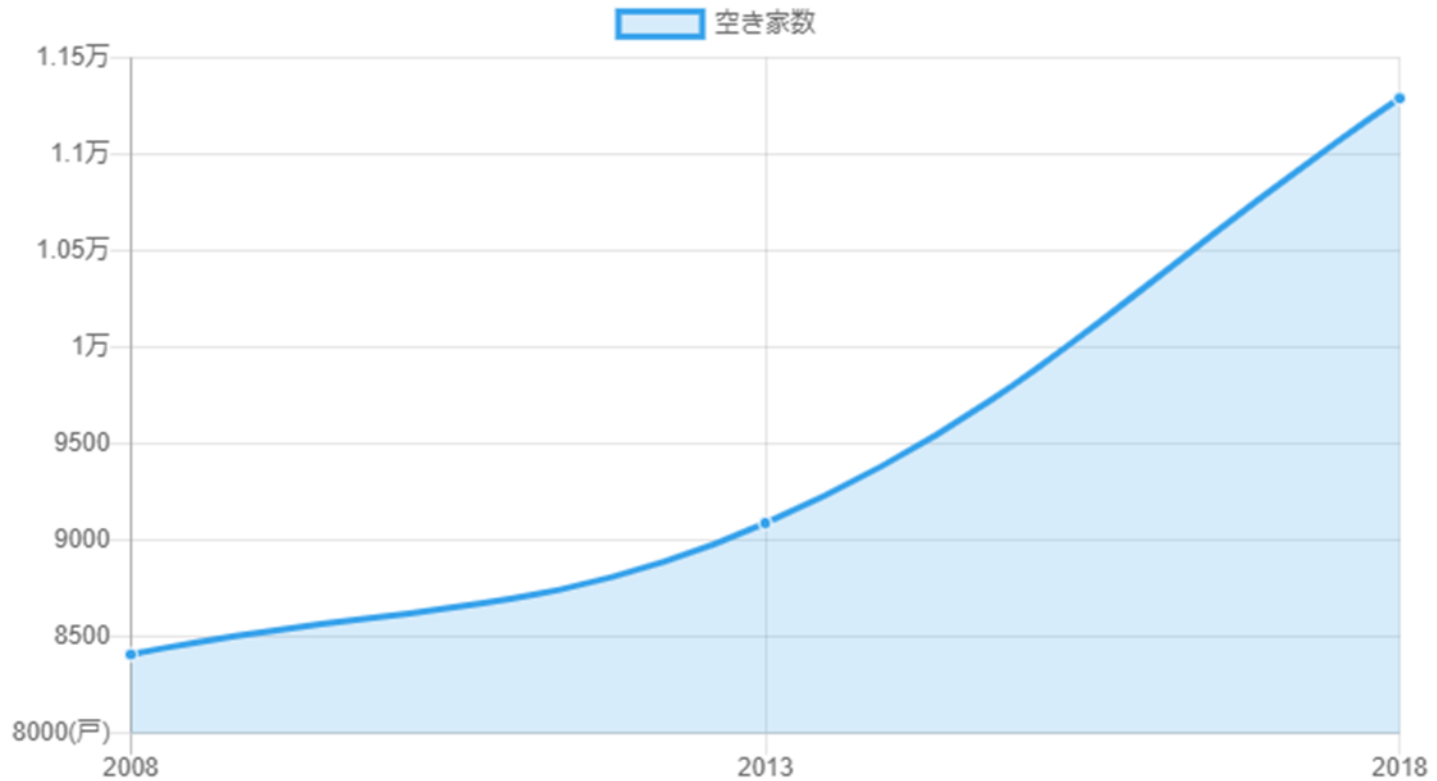
1位	鹿児島市	47850戸
2位	霧島市	14470戸
3位	薩摩川内市	11290戸
4位	鹿屋市	9630戸
5位	始良市	6410戸

問題点② 空き家数推移グラフ

(graph to chartより)



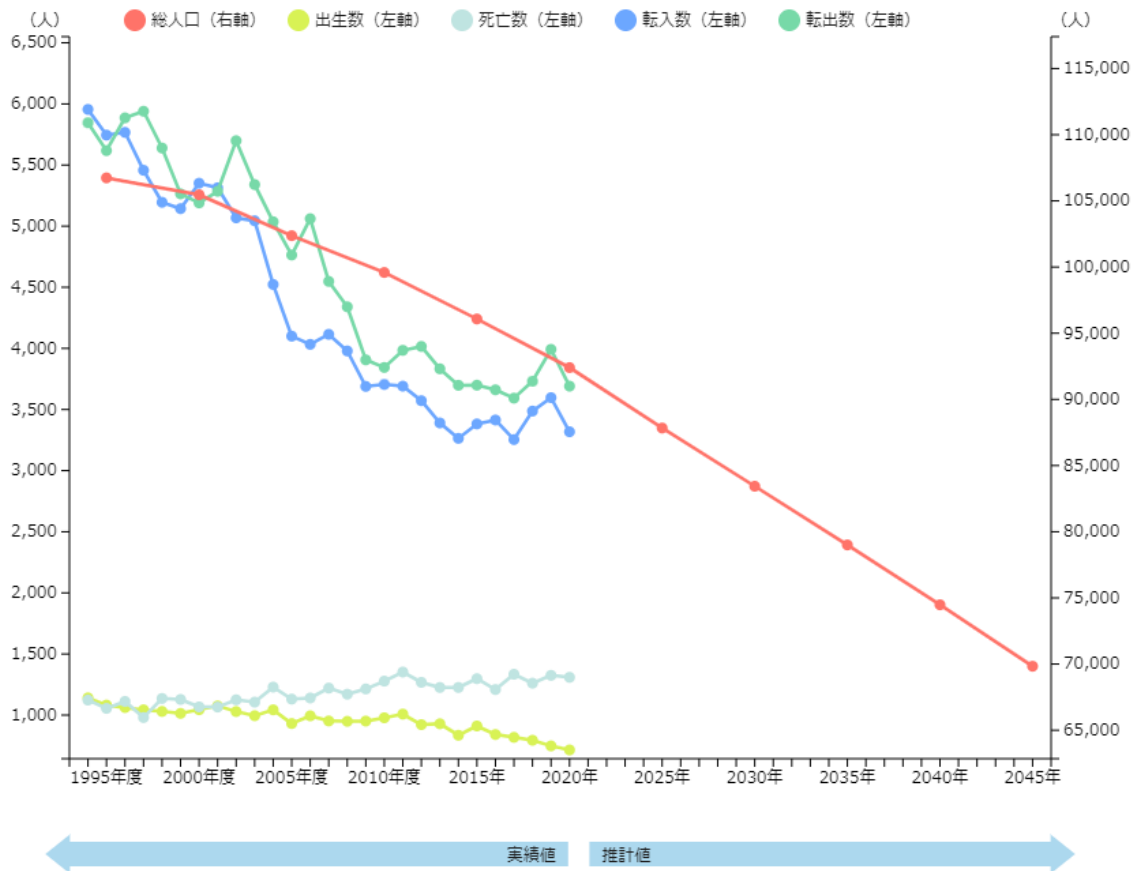
空き家数
推移グラフ(2008~2018年)
(graphtochart.com作成)



薩摩川内市の出生数・死亡数/転入数・転出数

出生数・死亡数 / 転入数・転出数

鹿児島県薩摩川内市



出生数が減少し、
死亡数が増加
総人口も低下している

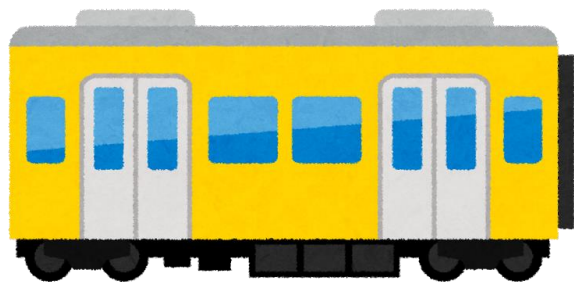
問題点③ 交通手段が少ない

地方にある
店舗の数が
少ない

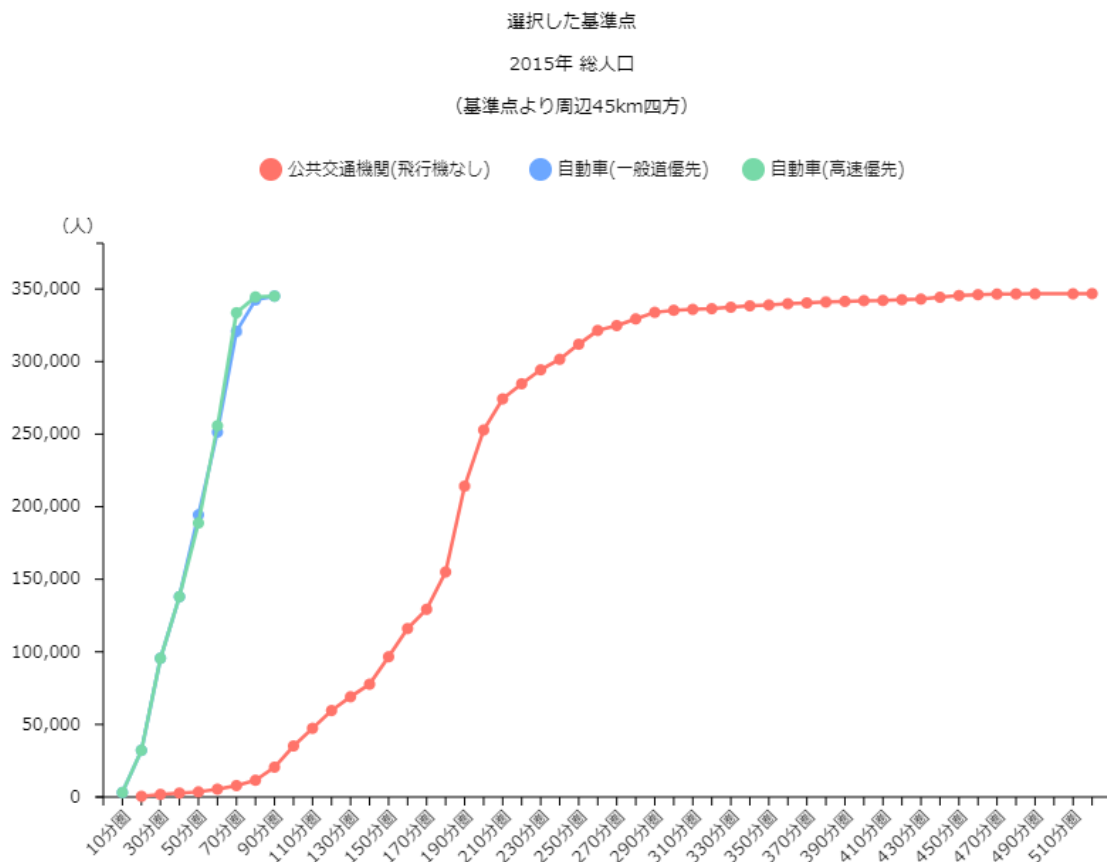
市内に向かう
公共交通機関
が少ない



榑脇町塔之原を起点としたときの移動時間



移動手段別の時間距離帯別累積人口



<https://resas.go.jp/traveltime-mesh/#/chart/46/46215/2/5/473053812/a/0/12.552578679059414/31.816382235928277/130.32911939934476/46215072/1>

問題点をまとめると

- 地方の店舗のジャンル数が少ない
- 空き家が多い
- 遅い時間まで営業している店が少ない
- 交通の便が悪く、買い物が不便
- 人口の減少や少子化が進んでいる

空き家とAIを活用した
24時間営業の**無人販売所**

AKINAI



システムの紹介

物を売る方

①商品を読み取る



②バーコードとその商品
相応の値札が出てくる



③バーコードを商品に
貼る



④出品する

物を買う方

①バーコードを機械で
読み取る



②代金を支払う



③購入完了



AKINAIのメリット

- ・ 最低限のスタッフで運営が可能

レジ係などの人件費がかからず、設備費や品出しスタッフのみで店舗運営が可能です

- ・ 非接触での販売が可能

客側がその場で料金を支払い、購入したい商品を自分で取り出す仕組みから通常の店舗での買い物と比較して大幅に接触のリスクが下げられます

無人販売のデメリット

盗難などセキュリティ上のリスクが懸念される…

デメリットであるセキュリティの
問題点を

AIの力を使い、
セキュリティ面の強化を図る

AIに万引き防止などの防犯機能をつけて商品を守る

AKINAI を活用することで

- ・ 増加する空き家を有効活用できる
- ・ 懸念される万引きなどはAIによる防犯システムで防止できる
- ・ 地方の空き家を活用し買い物をする際の移動が楽になる

まとめ

無人販売を行うことで、公共交通機関の本数が少ない地方に住んでいる人たちの買い物が便利になる。

常駐のスタッフが不要なので人件費など経費が削減され、商品の値段も安くなる。

都市部の店舗より安く販売できれば、近隣の住民だけでなく都市部の住民を呼び込む効果を期待できる。